

対日理解促進交流プログラム（JENESYS）
派遣プログラム・オンライン交流プログラム 参加者募集
よくあるご質問

お問い合わせの多いご質問を以下に掲載しております。

Q1. JENESYS 大学生訪韓団プログラムに合格をしています。韓国への派遣はまだですが応募はできますか？

私共が募集している派遣プログラムの対象者を「日本政府のプログラムに参加した経験のない方」としている理由は、日本政府として、できるだけ多くの学生の皆さんにこのようなプログラムに参加していただきたいという意向があるためです。そのため、すでに以下のような他の日本政府のプログラムへの参加された方／合格されている方につきましては、誠に恐縮ですが、今回の募集へのご応募はご遠慮いただけますようお願い申し上げます。

対日理解促進交流プログラム（JENESYS（韓国、中国、太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド）、カケハシ・プロジェクト、Juntos!!）、日露青年交流事業、日本語パートナーズ（国際交流基金）、JASSO 海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府青年国際交流事業等

Q2. 過去に参加したプログラムが日本政府のプログラムかどうか分かりません。どうしたら良いでしょうか？

過去に参加されたプログラムが日本政府事業に該当するかどうかについては、当方では個別に判断いたしかねます。恐れ入りますが、当該プログラムの実施団体または主催団体へ直接お問い合わせください。

Q3. 現時点で試験を受けておらず、目安となる英語のスコアを持っていないのですが、渡航までに取得する予定のため申し込むことは可能ですか。

応募は可能です。ただし、選考の際に必要なになりますので、もしも語学試験等を受けていない場合は募集要項に記載しました通り、成績表の写しや推薦状（応募の目安である

TOEIC600 点以上の英語力を有していることを明記したもの）等を添付してください。

※募集要項記載

＞語学試験類の受験経験はないが相応の語学力を有する場合（例：帰国子女、ESS クラブや英語弁論大会等の実績を有する者等）は、語学力を証明する成績表の写しまたは推薦状にて代替可とします。

Q4. 現在、海外の大学に在籍しています。応募はできますか？

募集要項の「応募条件」を満たす場合、海外の大学に在籍している方もご応募いただけます。ただし、海外からの参加をご希望の場合は、下記の点にご了承いただく必要があります。

① 集合・解散場所である国際線出発・帰着空港（羽田空港または成田空港を予定）に集合・解散できること

※海外在住の方は、フライト遅延等を考慮し、集合日の前日までに来日していただきます。

※集合・解散場所までの移動費・宿泊費等はご本人負担となります。

※派遣国での現地集合・解散は不可となります。

② オンラインプレプログラムや参加者同士の打合せ等に、日本時間に合わせて参加できること

Q5. 今年度、日程が合わず派遣プログラムには応募できません。もしも今年度オンライン交流プログラムに参加した場合、来年度の派遣プログラムへの応募資格はなくなりますか？

現時点では、オンライン交流プログラムへの参加によって来年度の派遣プログラムへの応募資格が失われることはありません。ただし、来年度の募集要項は現時点では未定のため、応募条件等が変更となる可能性がありますこと、ご了承ください。

Q6. エントリーフォームを入力し、送信しましたが、自動返信メールが届きません。応募できているかどうか確認してもらうことはできますか？

自動返信メールが届いていない場合、応募が正常に完了していない可能性があります。

まずは迷惑メールフォルダ等をご確認ください。メールが確認できない場合は、お手数ですが改めてご応募をお願いいたします。募集要項にも記載しているとおり、フォーム上での入力に長時間を要した場合、応募内容が正常に送信されないことがあります。入力内容はあらかじめご準備の上、フォームへの入力を開始されることをお勧めします。

Q7. エントリーフォームを入力し、送信しましたが、エラーで締め切り日時までに応募を完了することができませんでした。個別で応募を送信することは可能ですか？

応募締切日にはアクセス集中により、サイトにつながりにくくなったり、エラーが発生したりする可能性があります。締め切り直前のお申込みは避け、余裕をもってご応募ください。なお、締め切り後の応募やエラーに関する個別対応はいたしかねます。